

令和5年度年報



【令和5年6月 大沼自然豊かな森づくり協議会による植付作業】
(七飯町吉野山国有林)

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



国民の森林・国有林

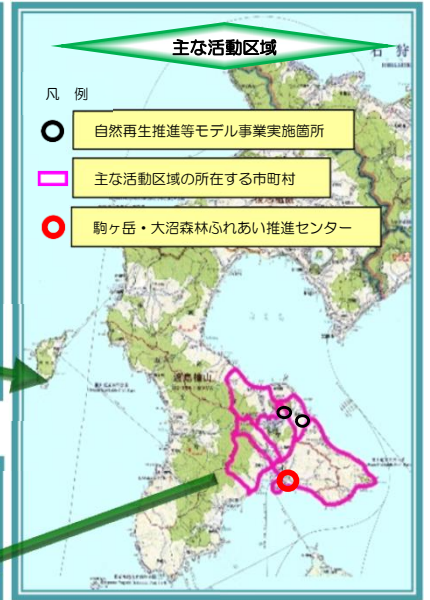
林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

大沼地域自然再生等モデル事業の取り組み

モデル事業地は、大沼国立公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所の選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、「多様性のある森林への再生」と当該地及び近接地において「森林環境教育の推進」を主とし、取り組むこととしています。



＝ 検討委員会 ＝

- 平成16年度ランドデザイン作成のために3回実施。
- 平成17年度～平成26年度「ランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。
- 平成28年12月役割の一部を「大沼自然豊かな森づくり協議会」に継承して終了。

★「大沼自然豊かな森づくり協議会」

令和5年3月8日（水）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、15名の委員が参加し、第18回「大沼自然豊かな森づくり協議会」を開催。宮崎会長を議長に、令和4年度実行内容及び令和5年度計画について事務局より提案の後、討論を行いました。

委員からは「間伐などの森林作業等の実施」や「立木の調査方法などを学習したい」などの意見が出されました。併せて役員体制について承認され、これからも協力・連携を図りながら、自然再生への取り組みを進めていくことを確認し終了しました。

協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水を考える会
北海道国際交流センター
北方森林鳥類調査室クマゲラ研究会
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関



協議会総会（令和5年3月8日）

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

★ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22,90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。

【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。令和5年度の主な実施内容は、次のとおりです。

「カミネッコンによる植付作業」の実施

令和5年6月24日（土）、大沼自然豊かな森づくり協議会をはじめ、一般参加者、渡島署、檜山署の若手職員を含め、総勢19名により、カラマツ人工林の上層木がまばらな箇所へ、カミネッコンによる広葉樹（ミズナラ、イタヤカエデ、ヤチダモ、ナナカマド、など）の植付けを行いました。

午前中は、小雨が降るあいにくの天候のため、同協議会の宮崎会長の作業小屋をお借りし渡島署職員の説明によりカミネッコンの組み立てとポット苗からの移植を行いました。最初のうちは戸惑いながらもハイペースで210個のカミネッコンを完成しました。

午後からは、植付場所に移動して地均しを行い、最後は全員でカミネッコンを植付し、心地よい汗を流して終了しました。



※カミネッコンとは再生紙で作ったリサイクルポットです。

「国際ワークキャンプ」の受け入れ・・・ 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活をしながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE(ナイス)が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行っています。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあいセンターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取り組みの一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。

下記写真は、令和元年度実施活動の様子



概要説明

ポット苗づくり

地帯・植付作業

作業終了後、集合写真

吉野山森林植生観察会の実施

春と秋の下層植生の変化（変遷）を観察するため、北海道アウトドアガイド（自然）の木村マサ子氏及び村本ゆり子氏を講師に森林植生観察会を開催しました。

吉野山における森林植生観察会は、自然再生の取り組みが始まってから10年を契機として、平成27年から、主に下層植生の変化（変遷）を観察するため実施しており、9年目となります。

今年度は春季5月20日、秋季10月14日に「森林植生観察会」を実施し、大沼自然豊かな森づくり協議会のメンバーと一般公募によるボランティア延べ24名の参加を含む63名の参加により、季節ごとの草花を楽しみながら調査を終了しました。



★ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の**樹木博士認定常設コース**（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図ることを目的として活動しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための**樹木博士認定会**の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「**常設コース**」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年6月から9月の第一日曜日に**定期開催**しています。



進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い、成績に応じて段級（**最高位は10段**）を決定し、認定書を授与します。



樹名板

認定書

コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [450 m]
テストコース [390 m]
周 遊コース [2,050 m]
- ◆ 試 験 樹 種 40種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



令和5年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月・7月・8月・9月の4回の定期開催を実施しました。

また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で行っている生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（西大沼）



本年度の定期開催の参加者は延べ47名で、今年も参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけをすると共に他のイベントやホームページでPR活動を行ってまいります。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 4日（日） 10：00～12：30（西大沼）	11人	子供 0、大人11
第2回	7月 2日（日） 10：00～12：30（西大沼）	10人	子供 0、大人10
第3回	8月 6日（日） 10：00～12：30（西大沼）	3人	子供 0、大人 3
第4回	9月 3日（日） 10：00～12：30（西大沼）	9人	子供 0、大人 9

● その他開催

職員研修（後志・檜山・渡島・空知森林管理署）	10人	子供 0、大人10
------------------------	-----	-----------

● 樹木博士認定状況

令和5年度末 累計	2,767人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた合計です）
-----------	---------------------------------

★ 森林づくり塾2023 開講

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

「森林（もり）づくり塾」の取り組みは今年で17年目となります。

公募を行った結果、函館市、北斗市、七飯町から20名の参加があり、昨年に引き続き渡島総合振興局林務課の「森への誘い講座」と連携して実施しました。

令和5年度の森林づくり塾は、令和元年度以来の予定していた5回すべての開催することができました。

第1回講座

6月18日（日）、今年の塾生18名が参加して開講式を実施しました。

当日は、今期の講座内容の説明と安全対策について学んだ後、森林ふれあい推進センターの紹介、国有林の概要や北海道森林管理局重点取組事項の説明を行いました。

また、第3回講座で使用するカミネッコンの作り方を学習し、カミネッコン作成を体験し終了しました。



第2回講座

7月30日（日）、函館市恵山国有林において、「森へ誘い講座」の受講生を含め29名の参加により恵山登山が行われました。

当日は、檜山森林管理署職員の治山事業についての説明の後、連日の暑さと曇り模様の天候のため、各自の体調と相談しながら恵山山頂、岬展望台などに分かれ、ガンコウラン、シラタマノキなど多くの高山植物を観察し、全員無事に終了することができました。



第3回講座

8月27日（日）、渡島総合振興局の「森への誘い講座」との共同開催で28名が参加し七飯町吉野山国有林でカミネッコンによる植付作業を体験しました。

当日は、30°を超える暑さのなか、初めて組み立てる人は苦労していましたが、檜山森林管理署職員の流暢な説明のおかげで、用意したカミネッコンを組み立てることができました。

午後からは、ポット苗の移植、地均し、植栽を行い、無事終了することができました。



第4回講座

9月6日（水）、「森への誘い講座」との共同開催で29名が参加して横津岳登山を開催しました。当日は、横津岳から烏帽子岳までの工程の途中では、ウッドチップを参加者で運び登山道整備も行いました。

当日は、残念ながら霧のかかる天気となり、雄大な展望を望むことはできませんでしたが、エゾオヤマリンドウなどの植生観察や横津岳湿原群を見ながら登山を行いました。



第5回講座

10月18日（水）、渡島総合振興局林務課の「森への誘い講座」で行われた「森からの贈り物」と題した、キノコの生態学講座と散策に塾生15名が参加しました。道南四季の杜の里の舎（いえ）で、函館キノコの会会長の石垣充一さんが講師となり、食用キノコの栄養や働きなど、多様なキノコの魅力いっぱいの講義内容でした。

午後からは、公園内の森林でキノコを探しながら散策、発見したキノコの名前や、生育する環境など興味深い説明があり、キノコ探しを楽しみながら熱心に聞いていました。

講座終了後、今回が令和5年度最後の講座となったため、修了証書の授与を行い、全講座を終了しました。



★ 森林環境教育

🌲 檜山森林管理署主催「グリーンスクール」に協力

9月7日（木）、江差町水堀の砂坂海岸林において、江差北小学校グリーンスクールを開校、当ふれあいセンターは、5・6年生を担当し、「ウッドボーリング」の自作体験を担当し、今回の材料に使った国有林から集めた様々な樹種を説明した後、不慣れなのこぎりを手に悪戦苦闘しながらも道具を作成。完成後は、2チームに分かれ実際に競技を体験してもらい、時間いっぱいまで楽しんでいました。



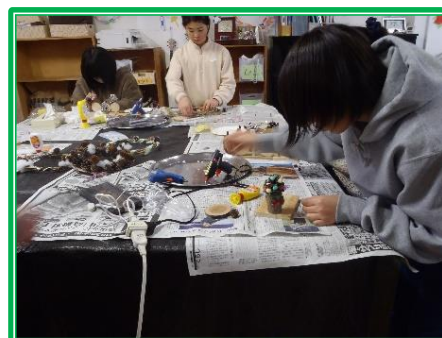
🌲 「セーザイゲーム」大会の開催に協力

11月14日（火）、函館アリーナにおいて檜山・渡島森林管理署主催、当センター協賛により、北海道初となる「セーザイゲーム」大会を開催しました。「セーザイゲーム」とは、三重県熊野林星会と三重大学が共同開発したボードゲームで、プレーヤーは製材会社の経営者となり丸太の落札から製材まで、いかに稼ぐかを競うゲームで、このようなゲームを通じて林業・製材業における課題を学び、木材利用の重要性を知ってもらうことを目的に開発されたものです。当日は、一般の方から林業関係者まで29名が参加し、盛況のうち終了しました。



🌲 学童保育所（ひのてん）の木工製作会に協力

12月16日（土）、函館市末広町の学童保育所でクラフト作りを開催しました。当日は、地元の小学校が学校閉鎖となり6名の児童が参加となりましたが、当センターから提供した材料を使ってクリスマスにちなんだクラフト作りを行いました。



令和5年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
R5. 5. 20	土	大沼自然豊かな森づくり協議会：春季森林植生観察会（吉野山国有林）
R5. 6. 2	金	遊々の森 植付体験：函館柏稜高等学校（カリマ国有林）
R5. 6. 4	日	第1回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R5. 6. 16	金	遊々の森 植付体験：函館有斗高等学校（カリマ国有林）
R5. 6. 18	日	第1回森林づくり塾：開講式（駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター）
R5. 6. 21	水	「森への誘い講座」（渡島総合振興局林務課）：講師依頼（渡島総合振興局）
R5. 6. 24	土	大沼自然豊かな森づくり協議会：植付作業（吉野山国有林）
R5. 7. 2	日	第2回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R5. 7. 14	金	五稜郭保安林：清掃作業支援（函館市）
R5. 7. 26	水	国際ワークキャンプ（吉野山国有林ほか）→ 中止
R5. 7. 30	日	第2回森林づくり塾：恵山登山（函館市）
R5. 8. 6	日	第3回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R5. 8. 8	火	若手職員を対象とした樹木博士認定会（西大沼国有林）
R5. 8. 27	日	第3回森林づくり塾：植付体験（吉野山国有林）
R5. 9. 3	日	第4回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R5. 9. 6	水	「森への誘い講座」（渡島総合振興局林務課）：横津岳登山（七飯町）
R5. 9. 7	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」森林環境教育（砂坂国有林）
R5. 10. 11	水	留萌北部森林管理署若手職員による樹木博士認定常設コース視察
R5. 10. 14	土	大沼自然豊かな森づくり協議会：秋季植生観察会（吉野山国有林）
R5. 10. 18	水	「森への誘い講座」（渡島総合振興局林務課）：森からの贈り物（道南四季の森公園）
R5. 11. 14	火	「セーザイゲーム」大会の開催
R5. 12. 16	土	木工製作会協力：学童保育所「ひのてん」（函館市）
R6. 2. 29	木	冬芽観察会（西大沼国有林）
R6. 3. 13	水	大沼自然豊かな森づくり協議会：協議会総会（七飯町）

主な活動実施区域



西大沼（にしおおぬま）国有林



駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



砂坂（すなさか）海岸林



吉野山（よしのやま）国有林



カリマ国有林



国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒040-0032
北海道函館市新川町25番18号（函館地方合同庁舎6階）

TEL 0138-86-6897
E-mail h_koma_f@maff.go.jp